

新潟県 建設技術センターだより

Niigata Construction Technology Center

2020
春号
Spring

市町村紹介コーナー

三条市

[中越エリア]

五十嵐川土手沿いに咲くシバザクラ

このシバザクラは三条市を流れる五十嵐川の土手沿いに植えられており、過去2度の水害で全て流出してしまったものの、平成25年に、地域の方々により再度植えられ、復活しました。春になるときれいな花を咲かせ、通る人々を魅了しています。

CONTENTS

■特集

02 市町村紹介コーナー
三条市

04 発注者支援事業紹介

05 けんせつセミナー2020のご案内、
クリエイティブセミナーのご案内

■センターINDEX

06 ものづくり体験学習教室

07 雪のことは・雪のころ

08 編集後記

08 新潟の地酒巡り

福顔酒造

ニコニコ「えびす顔」に
なる日本酒を



一般財団法人

新潟県建設技術センター <http://www.niigata-ctc.or.jp/>

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18 TEL.025-267-4804 FAX.025-267-4854

☎0120-733-308



三条市

SANJO CITY

三条市のプロフィール

面積 / 431.97km²

人口 / 96,904人 (令和2年3月1日現在)

世帯数 / 36,478世帯 (令和2年3月1日現在)

<https://www.city.sanjo.niigata.jp/>

三条市は、金属加工を中心とした産業集積地で、世界有数のものづくりのまちとして高度な技術を持つ職人が多く活躍しています。

そのものづくりを体感していただくため、隣の燕市と共に、毎年10月の4日間、燕三条地域の名だたる工場を一斉に開放する「燕三条 工場の祭典」を開催しています。普段は閉じられているものづくりの現場の見学や、体験などを通じて、地域の魅力を深く体感でき、県内外、海外から5万人を超える方々が訪れています。





pick up!

ミズベリング三條

ミズベリング三條は、信濃川と五十嵐川の合流地点に位置し、事業面積約72,000㎡の敷地の中にはのびのびと過ごせる広場があり、多くの方に足を運んでいただいています。

子どもたちが遊べる水路や遊具、自由にキャンプやバーベキューができる炊事場、かまどのほか、ミニサッカー場や屋外バスケットゴールなど、広大な敷地を活用した、いつ来ても楽しめる仕掛けがたくさんあります。

さらに、毎月、ミズベリング三條フェスとして、バスケットボールの3on3のイベントや餅つき大会など、様々なイベントを開催しています。イベントの情報等、詳しくはミズベリング三條のFacebookを御覧ください。

住所:三條市上須頃167-1

<https://ja-jp.facebook.com/mizbering.sanjo/>

問い合わせ:ミズベリング三條(三條市水防学習館)

Tel.0256-35-6520



三條凧(イカ)合戦

TOPICS/

毎年6月の第1土曜日と日曜日の2日間、ミズベリング三條を会場に行われる「三條凧(イカ)合戦」は、江戸時代から続く三條の初夏の風物詩です。

三條市では、凧のことを「タコ」ではなく、「イカ」と呼ぶことが特徴で、約20組もの凧組が優勝を争って空中戦を繰り広げます。勇壮で色鮮やかな六角凧が青空に舞い上がる景色は圧巻です。

https://www.city.sanjo.niigata.jp/sanjonavi/events/event_info/2259.html

問い合わせ:三條市営業戦略室 Tel.0256-34-5605





403号小須戸田上道路 道路改良 工事

工事概要

当工事は、一般国道403号改築事業の小須戸田上バイパス整備の1つで、南蒲原郡田上町湯川から田上町田上までの約1kmの道路改良工事です。現道の一般国道403号では慢性的な渋滞が発生し、様々な社会経済活動に支障をきたしています。また、歩道未整備区間も多く歩行者や自転車交通にとって危険な道路となっています。

当工事を含めた全ての整備事業が完成すると、上記問題の改善の他に、緊急輸送道路としての機能強化により災害に強い道路ネットワークの構築や、工業団地へのアクセス向上による物流の効率化などが期待されます。

施工位置



工事内容

- 工事名 / 平成30年度 防点国 第36-05-00-01号
403号小須戸田上道路 道路改良 工事
- 工期 / 平成30年10月～令和元年12月
- 発注者 / 新潟県 三条地域振興局 地域整備部 道路課
- 工事内容 / 延長 NO.137+14.1～NO.183+11.0 L=916.9m
掘削工 V=21,600m³(うちICT施工:V=15,700m³)
下層路盤 A=16,942m²(うちICT施工:V=7,270m²)
側溝工 L=3,622m(U型側溝:L=2,776m、自由勾配側溝:L=846m)

立会状況



平面図



着工前



工事完了後



現場技術員 から一言



現場技術員 木村 沙良

当工事は一般国道403号のバイパス整備事業のうち、既に供用が開始されている南蒲原郡田上町田上までの約1kmの道路改良工事でした。既存のサーチャージを撤去し、下層路盤まで完了する工事内容となっており、ICT建機を用いての工事となりました。私自身、ICT建機を用いた工事に携わるのは初めてのことで、施工方法や出来形管理・検査方法などICT施工について知ることができ、とても良い経験となりました。

今後も発注者支援業務を通し、自身の技術力向上を目指すと共に地域社会の発展に貢献していきたいと思っております。

けんせつセミナー 2020のご案内



県、市町村職員、建設事業関係者を対象に、多様化する建設課題に適切に対応できる視野と民間技術の発達に対応できる技術的能力の向上などを目的として「けんせつセミナー」を実施しています。

けんせつセミナー2020 開催予定



No	研修名	受講対象者			CPD 認定
		県	市町村	民間	
1	初任者技術研修		○		○
2	土質・地質調査I(基礎編)	○	○		○
3	土質・地質調査II(応用編)	○	○		○
4	雪氷技術	○	○	○	○
5	土木施工管理	○	○		○
6	道路設計	○	○	○	○
7	斜面对策技術	○	○	○	○
8	橋梁I(下部工の設計・施工編)	○	○	○	○
9	橋梁II(上部工の設計・施工編)	○	○	○	○
10	道路舗装の調査・設計・施工(上越会場)	○	○	○	○
11	道路舗装の調査・設計・施工(新潟会場)				
12	河川設計と多自然川づくり	○	○	○	○
13	土留め工法の計画・施工	○	○	○	○
14	コンクリート構造物の維持管理(新潟会場)	○	○	○	○
15	コンクリート構造物の維持管理(上越会場)				
16	自然災害時の危機管理		○		○

新型コロナウイルス感染拡大防止を理由に、開催の有無について変更する場合がございます。決まり次第HPに掲載いたします。

クリエイティブ セミナーのご案内

県、市町村などの職員を対象として、これからの社会資本整備に向けて必要とされる幅広い知識や本質を的確に捉える能力の向上を図るための研修「クリエイティブセミナー」を、県土木部との共催により実施しています。昨年度は4回の開催で多数ご参加頂きました。今年度も魅力あるクリエイティブセミナーを計画しております。



詳細が決まり次第HPに掲載いたします。多数のご参加をお待ちしております。
詳しくは当センターHPをご覧ください。▶ <http://www.niigata-ctc.or.jp/>

ものづくり体験学習教室



新潟県建設技術センターでは、公益事業の一環として「ものづくり体験学習教室」を開催しています。これは、地域社会の振興発展のため、未来の技術者に以下の3項目を目指した普及教育活動を実施しています。

その1

コンクリートを身近に感じ、社会基盤整備への理解と関心を深めてもらう。

その2

コンクリートに関する科学的な事象の体験を通じ、理化学分野に興味を持ってもらう。

その3

ものづくりの体験を、将来、技術者への進路につなげてもらう。

今回は、令和になり最初に開催した関川村立関川小学校さんでの模様をご紹介します。

開催概要

- ◎日時：令和元年10月11日(金)
5時間目～6時間目(125分間)
- ◎場所：関川小学校 3F多目的教室
- ◎対象：4年生(29名)
教職員の皆さん



開催内容(3本立て)



1

クイズでわかる!コンクリートのふしぎ

クイズ6問を通じて、コンクリートの特徴を学びました。また、皆さんの暮らしの中でも、コンクリートがとても役に立っていることを知りました。

クイズ形式でコンクリートの特徴を面白く楽しく学びます。



2

ペーパーウエイトをつくってみよう!

ペーパーウエイト作りです。型から外して色を塗っています。みんな真剣です。

セメントと水を練り混ぜ、動物や魚の型に流し込み、コンクリート製のペーパーウエイトを作ります。最後に絵の具で着色して仕上げました。



3

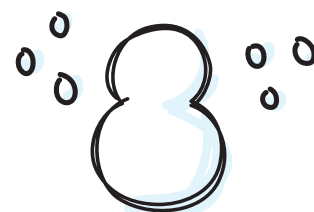
コンクリートで作った石橋(アーチ橋)を渡ってみよう!

コンクリート製のブロックを、自分たちで考えながら組み合わせて、アーチ橋を作ります。完成したら歩いて渡ってみますが、接着剤などを使っていないのに崩れないのは不思議です。

コンクリートがとても丈夫なことがわかります。



雪のことは・雪のころ



無雪害・少雪害

国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石 勲

令和初の冬は、現在のところ、記録的な暖冬少雪となっています。私の勤める長岡市栖吉の雪氷防災研究センターでも、2020年2月22日の記録は積雪0cmです(図1)。

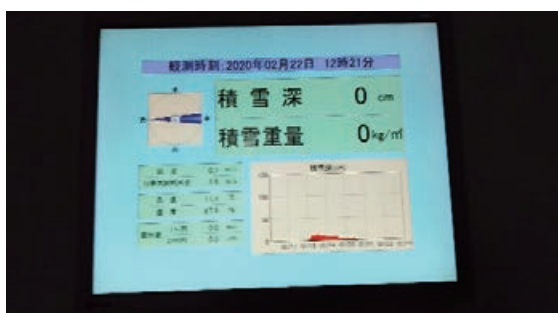


図1 長岡雪氷研でも積雪深0cm

雪氷研でのこれまでの過去55年間の記録では、1971～1972年冬の46cmが最小値、その次が1992～1993年と2006～2007年の50cmです。3月12日現在の雪氷研における2019～2020年の最大積雪深は22cmですので、これまでの最少記録を抜く可能性も高いものと思われます(図2)。この少雪によって、全国的に大きな影響が出ています。新潟県内ではスキー場の雪不足によって観光収入が減少しており、地域経済への影響も大きくなっています。さらに、営業ができないことによってスキー場が閉鎖となってしまったところもあります。また、除雪業者への影響も大きく、関係機関からの支援も実施されています。

2006～2007年の少雪時には、ダムの貯水率も低く水資源不足に留意するよう喚起もなされていました。4～5月に山間部に残っている積雪深を1～2mとすると、その融雪水は500～1000mmの降水量に換算されます。新潟県内での4～5月の降水量は2か月で200mm程度ですから、今後の雨の降り方によっては、農業用水などの水不足も懸念されるところです。特に、農業用水を雪や雨に頼る天水田ではこの影響が大きいようです。さらには、コメの先物市場にも影響が出始めているとのことでした。

2006～2007年は少雪だったにもかかわらず、山岳地域での雪崩事故も多くなっており、北海道積丹

岳、青森県八甲田山、富山県立山雷鳥沢で、計7名の犠牲者が出ています。温暖の差が激しいと、積雪の内部に温度勾配ができ、シモザラメという非常にもろく弱い層ができやすくなります。低気圧が通過することによって単純な崩れやすい結晶形の降雪による弱層もできます。また、気温が高いため、融雪によって全層雪崩も厳冬期でも起きやすくなります。さらに、この年には富士山でもスラッシュ雪崩という、融雪水と雪とスコリア(火山噴出物の一種)が同時に雪崩下る現象も発生しています。山岳地ではたとえ少雪でも雪崩の危険性を甘く見てはいけません。

(https://www.jstage.jst.go.jp/article/seppyo1941/69/4/69_4_507/_pdf/-char/ja)

2006～2007年の記録では、3月7日に一挙に50cmの積雪となっていますので、これからまだ集中的な降雪の可能性も考えられます(図3)。少雪でも発生しやすい雪氷災害もあります。春先の水資源不足対策も含め、今から検討しておくことが必要であると考えます。

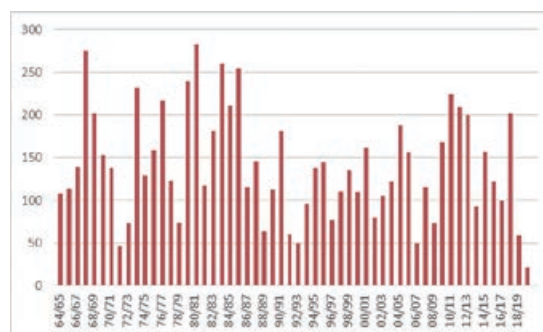


図2 年最大積雪深の変化(長岡雪氷研)

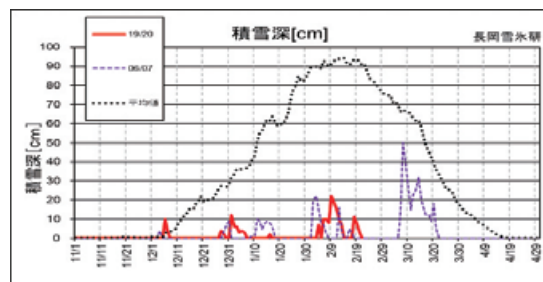


図3 2006～2007年と2019～2020年の積雪深変化(長岡雪氷研)

特集

vol.13

新潟の地酒巡り

全国的にも評価が高い新潟の清酒。
そのおいしさの秘密を紹介します。

三条市の酒蔵

福顔酒造

ニコニコ「えびす顔」になる日本酒を

飲んだ人が福顔になる日本酒を造り日本酒にて人を幸せにするという創業者の理念のもと、小さな蔵ならではの個性を出すために努力と挑戦を重ねております。こだわり続ける伝統の味、季節によって変わる味、新しい味、福顔酒造の日本酒を是非お楽しみください。



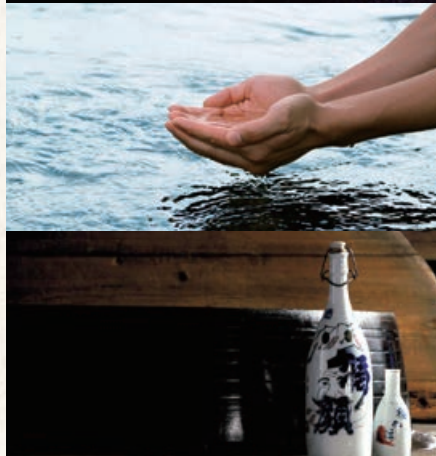
代表取締役
小林 章



1.「大吟醸 越後五十嵐川」地元三糸産酒米「越淡麗」100%使用。華やかな香りとすべりような喉越しをお楽しみください。 2.「ウイスキー樽で貯蔵した日本酒。FUKUGAO」その名のとおりウイスキーの空き樽で貯蔵した日本酒です。ウイスキー樽に染み込んだウイスキーの芳醇な香りと深い味わいが日本酒の旨みと絡み合い、今までにない新しい日本酒として生まれ変わりました。 3.「ル・レクチェのお酒」新潟が誇る果物「ル・レクチェ(洋梨)」果汁と純米酒で造ったリキュールです。糖類は使用しておりませんのでスッキリした甘さのお酒です。



福顔酒造株式会社
〒955-0061
新潟県三条市林町1-5-38
TEL.0256-33-0123
FAX.0256-33-4675
<http://www.fukugao.jp>



真面目な手造り、五感による酒造り

創業123年。「宇寿屋(うすや)」の屋号で、新潟県三条市で酒造業を始めました。現在では三条市で唯一無二の酒蔵です。飲んで思わずニコニコする旨い酒ということで命名された「福顔(ふくがお)」。旨い日本酒を飲んで福顔になってほしいという創業者の理念をそのまま蔵元名にしました。福顔酒造の企業ロゴマークは幸運の神、恵比寿様です。恵比寿様の笑顔は幸運を呼ぶと日本では言われています。日本語で福顔の意味とは、恵比寿様の顔のようにふっくらとした顔、幸運を呼ぶという意味です。時代によって変わるお客様のニーズに対応するように日々美味しさの追求をしています。

福顔酒造の日本酒の特徴は精米歩合の高さです。普通酒でも精米歩合は60%で大吟醸は40%まで磨いています。米は良質な地元産(五百萬石・越淡麗)、兵庫県特A地区産(山田錦)を使用しています。水は新潟県の三条市下田地区から三条市内へ流れる河川である「五十嵐川(いからしがわ)」の超軟水で、福顔の日本酒を柔らかく、まろやかな味にしてくれます。造りは昔ながらの道具や製法の特性をうまく引き出し、現代においても時間をかけた丁寧な醸造を行っています。

近年では日本酒ベースの地元特産ル・レクチェ(洋梨)のリキュールや日本酒をウイスキーやブランデー、バーボンの染み込んだ空き樽(オーク)で貯蔵した商品開発をし、日本酒の新しい可能性を追求しています。より付加価値のある商品を製造することが目標です。

創業時からの銘柄は「福顔(ふくがお)」ですが、味はその時代のお客様のニーズに合うように改良されています。



編集後記

桜花満開の美しい季節がやってまいりました。新年度がスタート何かと忙しいことと思いますが、皆様体調には気をつけていただきたいと思ひます。

さて、令和2年度がスタートいたしました。新しい年度ということで、これまで以上にセンターだよりを通して、市町村紹介をはじめ皆様に新潟県やセンターの魅力伝えていけたらと思ひます。

また、当センター職員はこれからも安全・安心な地域づくりに貢献できるよう、気持ちを新たに邁進してまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

編集委員 総務部 高橋 かほり